

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 期間	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス性脳炎	Neurology 2007; 69: 156-165	同種造血幹細胞移植 (HSCT) 後に急性大脳辺縁系脳炎を発症した患者9名の臨床、EEG、MRI、ならびに臨床検査特性を調べた。患者は、順行性健忘、不適切な抗利尿ホルモン分泌症候群、軽度CSF多球症、一時的なEEG異常を特徴とした。MRIでは、T2、FLAIR、DWI画像にて、胸、扁桃体、内側嗅頭、短脳領域内に高信号域を認めた。PCRを用いた初回腰椎穿刺CSFの検査では9名中6名がHHV6陽性であり、同脳炎はHHV6と関連がある可能性が示唆された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals 2007; 35: 79-97	ドイツにおいて、vCJDが血液供給へ及ぼす影響について実際の集団データを基にモデル計算を行ったところ、輸血を介した伝播がvCJDを永続化するような可能性はなかった。更に、受血経験者を供血から排除しても輸血の安全性向上にはほとんど寄与しないが、血液供給には多大な影響を及ぼすと考えられた。そのためドイツにおいては受血経験者の除外は推奨されなかった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2007年5月4日	イスラエルで血液事業を行っているMagen David Adomは、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に関する供血症基準を変更し、1980年以降にフランス居住歴がある人の供血を可能とした。1980年から10年間のうちにイギリス、アイルランド、ポルトガルに居住歴のある人は、引き続き供血禁止となる。また、輸血を受けた人、B型肝炎やC型肝炎患者と一緒に住んでいた人、入れ墨を入れた人、内視鏡検査を受けた人、未検査の動物に噛まれた人の供血延期期間を短縮した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc Natl Acad Sci 2007; 104: 10998-11001	アミロイドを含むアミロイドグリアにアミロイド促進因子(AEF)活性があるかを調べた。市販のアミロイドグリアから抽出したアミロイドA蛋白含有フィブリルを、二次性アミロイドーシスを起こすトランスジェニックマウス9匹に静脈内投与したところ全例で、また縫口投与した場合は8匹中5匹でアミロイドの組織沈着が見られた。一方、対照群では全く組織沈着は見られなかった。加齢によりアミロイドグリアのAEF活性は弱まったが、消失しなかった。アミロイドーシスは伝播性で、プリオン関連疾患の感染性と類似する可能性がある。